

## 「令和5年度新臨技中越支部フォーラム」開催報告

平素より新臨技中越支部の活動にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
このたび令和5年7月29日(土)、にハイブ長岡にて中越支部学術研修会「令和5年度中越支部フォーラム」を開催いたしましたのでご報告致します。

今回は新型コロナウイルス感染症の5類感染症への引き下げに伴う各種規制緩和を鑑み、数年振りに現地での開催といたしました。当日参加者は技師会員等25名に加え、将来を担う北里大学保健衛生専門学院の学生さん18名にも参加いただき、合計43名とたいへん盛況な会となりました。

### 【講演1】尿沈渣のピットフォールと尿沈渣検査の基礎（変形赤血球について）

講師 アークレイ マーケティング（株） 柴崎 涼 先生

はじめに、一般検査における尿試験紙取り扱い時の注意点や使用方法、各検査項目の測定原理や偽反応の検出と確認試験など、基礎でありながらも注意すべき点を詳細に説明していただきました。

次に、尿沈渣検査の赤血球形態の判定基準や注意点など、日常業務で重要となる鏡検時の鑑別ポイントについてご講演いただきました。特に、赤血球の観察は染色の影響が出やすいため、無染色での観察が推奨されます。無染色での観察は注意すべきことも多いですが、臨床的意義が高く重要な検査となります。

どちらの内容も、日常働く技師だけでなく、学生さんにも分かりやすくご講演いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。



## 【講演 2】 臨床検査技師会の役割と活動について

講師 新潟県臨床検査技師会 桑原喜久男 副会長

新潟県臨床検査技師会の役割や現状、これからの検査技師会に求められる人材や目標についてご講演頂きました。会員数は上越支部 152 名、中越支部 438 名、下越支部 159 名、佐渡支部 37 名、新潟支部 584 名で合計 1370 名（2022 年 3 月 1 日現在）。

役割としては、県学会などのイベント運営や他支部との情報共有、研修会や講演会を企画し、会員の知識と技術の向上を目指し活動しています。

会員は他力本願ではなく、積極的に自ら行動することが求められます。また、会員は女性が多くを占めるため、これからは女性技師の視点での意見や活躍が必要となります。会員の皆様、今後を担う学生の皆様からは県学会や全国学会をはじめとする各種研修会などへ積極的にご参加いただき最新の情報収集とスキルアップを図ってもらおうと同時に、今後も日臨技の活動へのご理解ご協力をお願いしたいとお言葉がありました。



当支部においても年数回の学術研修会開催を予定しており、会員の皆様のニーズに沿った内容の講演や研修を目指し準備をしております。研修会テーマ等皆様よりご意見ご要望をお寄せいただけますと幸いです。

（文責：JA 厚生連 長岡中央総合病院 石井唯奈・常木菜々恵）

### <中越支部 今後の予定>

#### 【公益事業】

令和 5 年 11 月 19 日(日)「第 35 回糖尿病を知るつどい・アオーレで知ろーれ糖尿病 2023」

#### 【支部研修会】

令和 5 年 11 月下旬開催予定「令和 5 年度中越支部ふれあい研修会」

<新臨技中越支部事務局(支部長)>  
長岡赤十字病院 病理診断部 田村正史  
電話：0258-28-3600(内線 2318)  
メールアドレス：tamarino5151@yahoo.co.jp